

HTML I

Webサイト作成

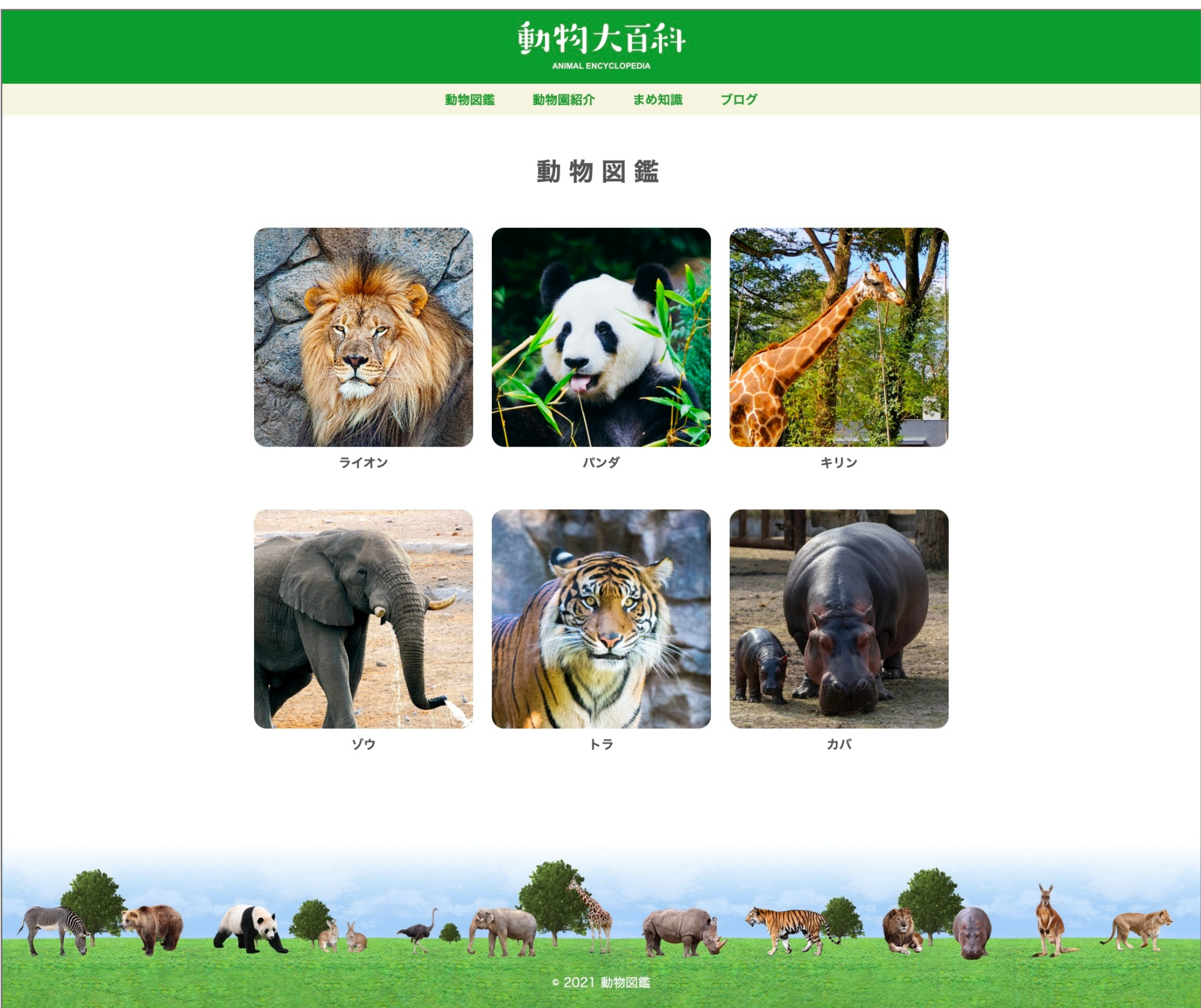
簡単なWebサイト

完成イメージ

トップページ



動物図鑑トップ



動物大百科

ANIMAL ENCYCLOPEDIA

動物図鑑動物園紹介まとめ知識ブログ

ライオン



ライオンは、食肉目ネコ科ヒョウ属に分類される食肉類。別名はシシ（獅子）。オスであれば体重は250キログラムを超えることもあり、ネコ科ではトラに次いで2番目に大きな種である。現在の主な生息地はサハラであるが、インドのジル国立公園のインドライオンは絶滅が危惧されている。北アフリカや西南アジアでは有史時代に姿を消している。更新世末期、約1万年前までライオンはヒトに次いで広く分布する大型陸上哺乳類だった。

一覧へ戻る



© 2021 動物大百科

動物大百科

ANIMAL ENCYCLOPEDIA

動物図鑑動物園紹介まとめ知識ブログ

動物園紹介

東京都神奈川県千葉県

東京都

井の頭自然文化園
羽村市動物公園
東京都恩賜上野動物園
大島公園動物園
東板橋公園

神奈川県

川崎市夢見ヶ崎動物公園
よこはま動物園ズーラシア
横浜市立金沢動物園
こどもの国
横浜市立野毛山動物園

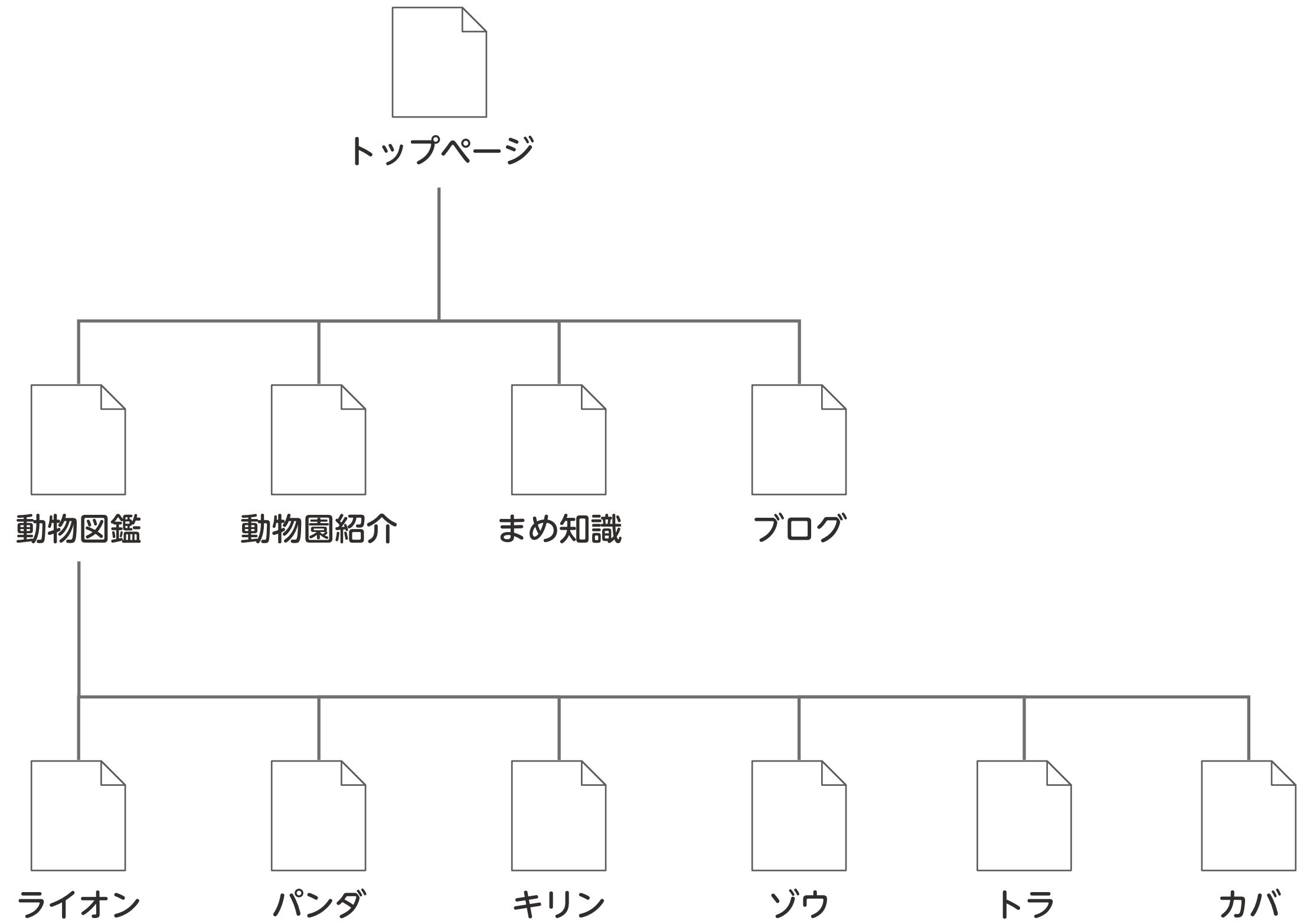
千葉県

市川市動植物園
千葉市動物公園
アロハガーデンたてやま
市原ぞうの国
高宕山自然動物園

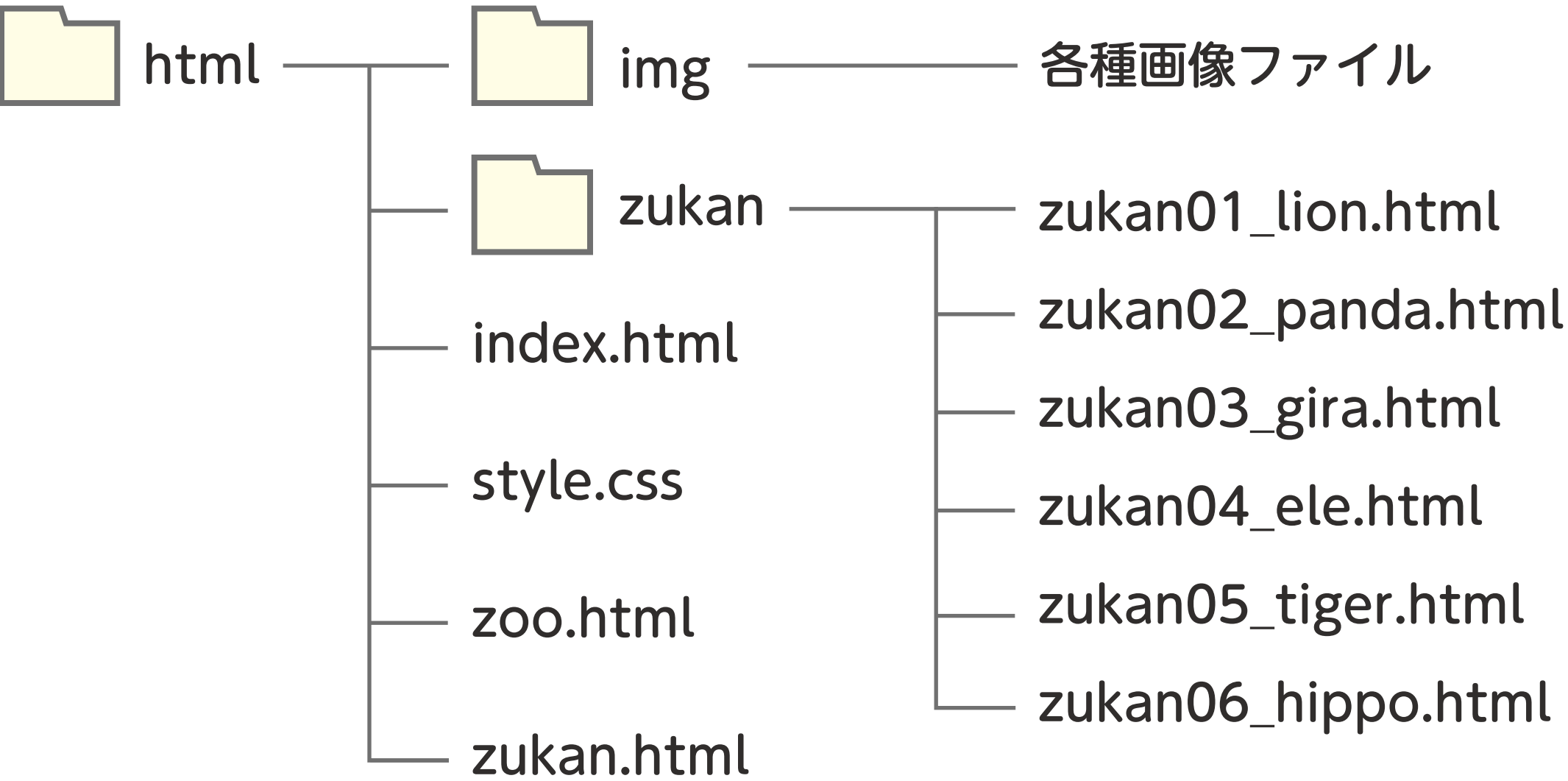


© 2021 動物大百科

サイトマップ



ファイル構成



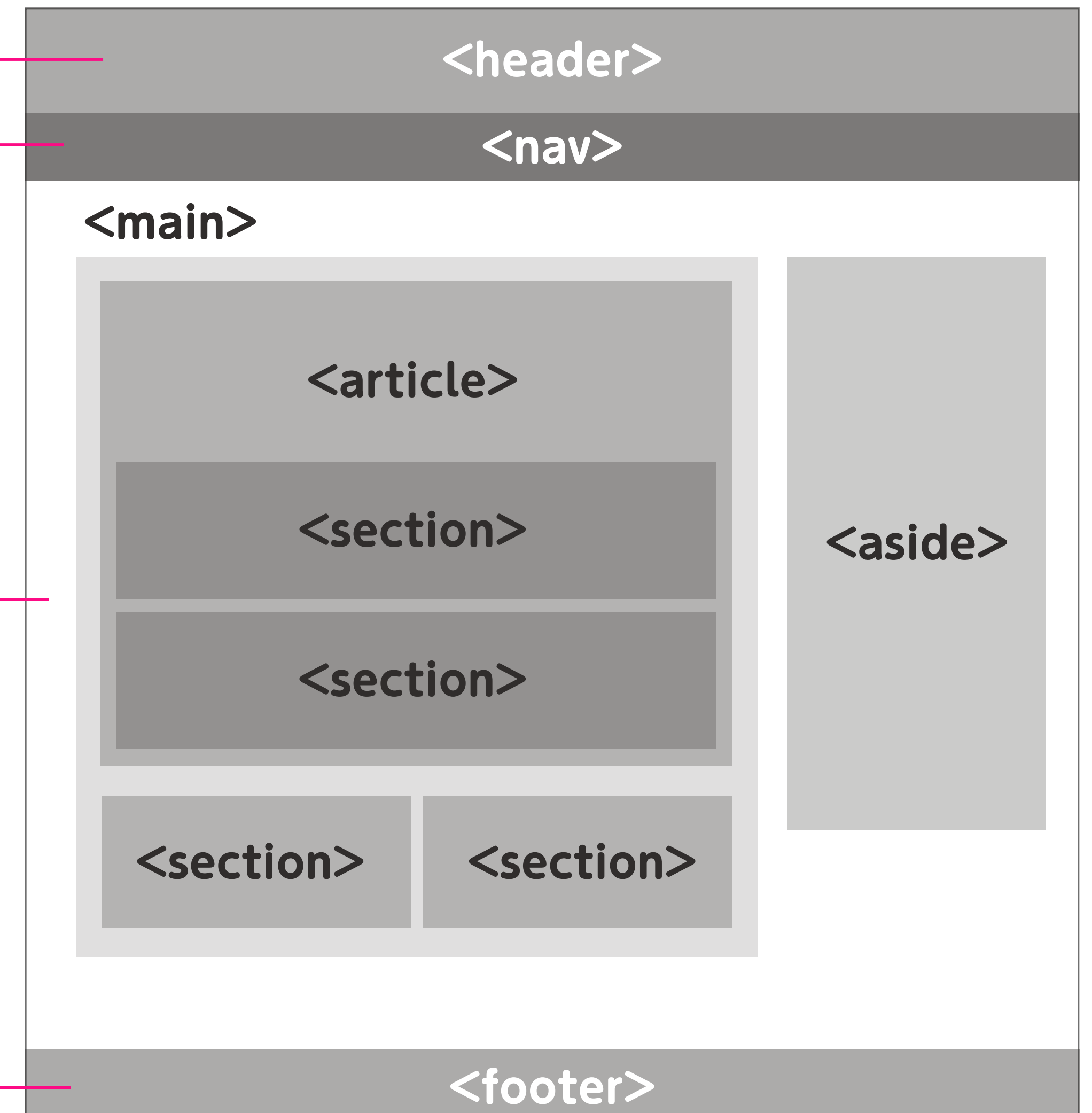
グループ化をするhtmlタグ

Webサイトはエリアごとに呼び方があり
それぞれ使用するhtmlが決まっています。

図のようにhtmlタグを使用して、
各エリアをグループ化しましょう。

コンテンツに使用するhtmlタグは様々な種類がありますが
どれを使用するかはページの構成によって変わってきます

ヘッダー
ナビゲーション
コンテンツ
フッター



リンクの設定方法

■ テキストにリンクを貼る場合

`動物図鑑`

移動先の
URLやファイル名

リンクを設定したい
テキスト

■ 画像にリンクを貼る場合

``

移動先の
URLやファイル名

リンクを設定したい画像

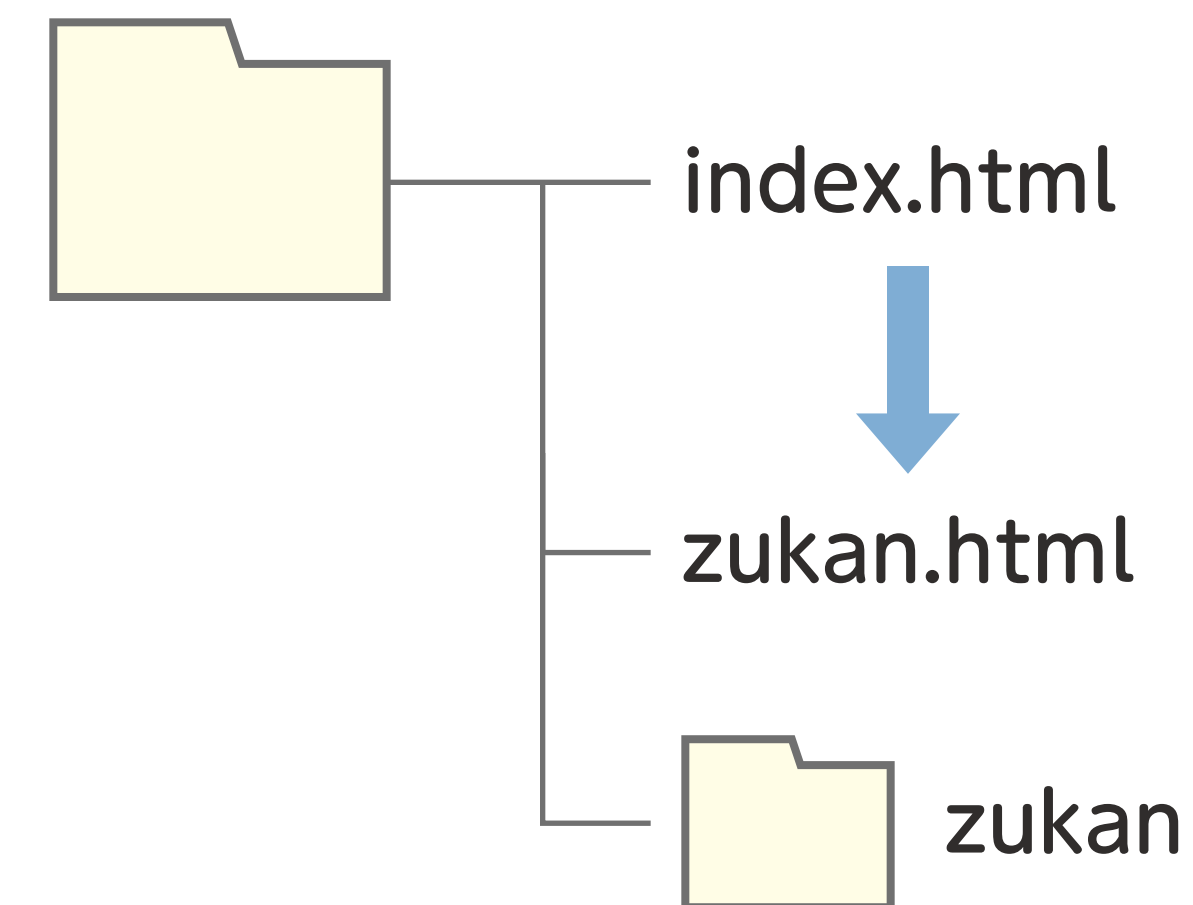
ファイルのパスについて

ファイルの置いてある場所のことを「パス」と言います。

htmlで画像を表示したり、リンクを設定したりする場合には
ファイルの場所を正しく記述しなければなりません。

アプリケーションの機能を使用すれば自動的に入力してくれますが、
書き方を正しく理解して、手作業でも修正できるようにしましょう。

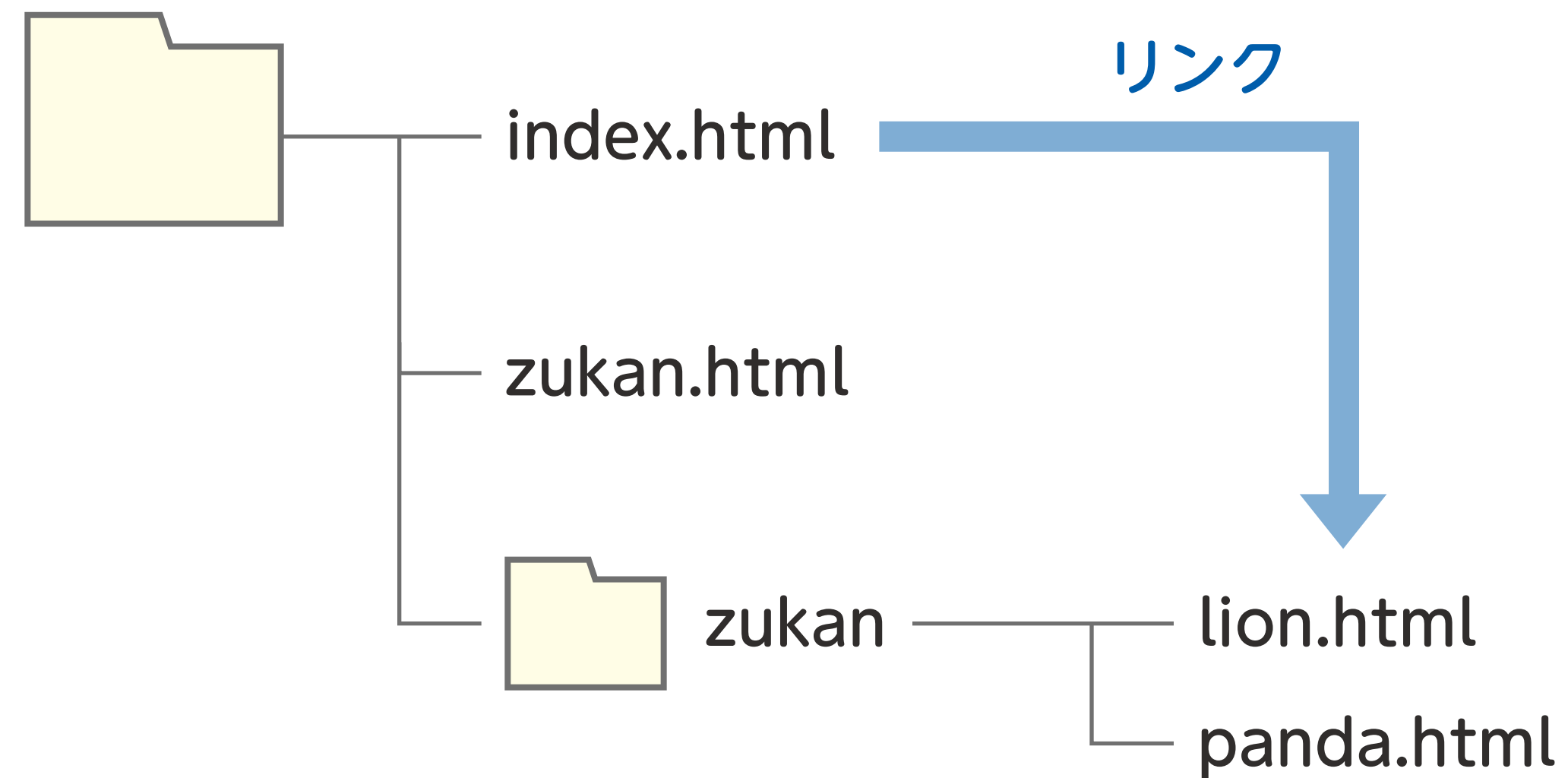
■ 同じフォルダ内にあるファイルへリンク



``

ファイル名をそのまま記述

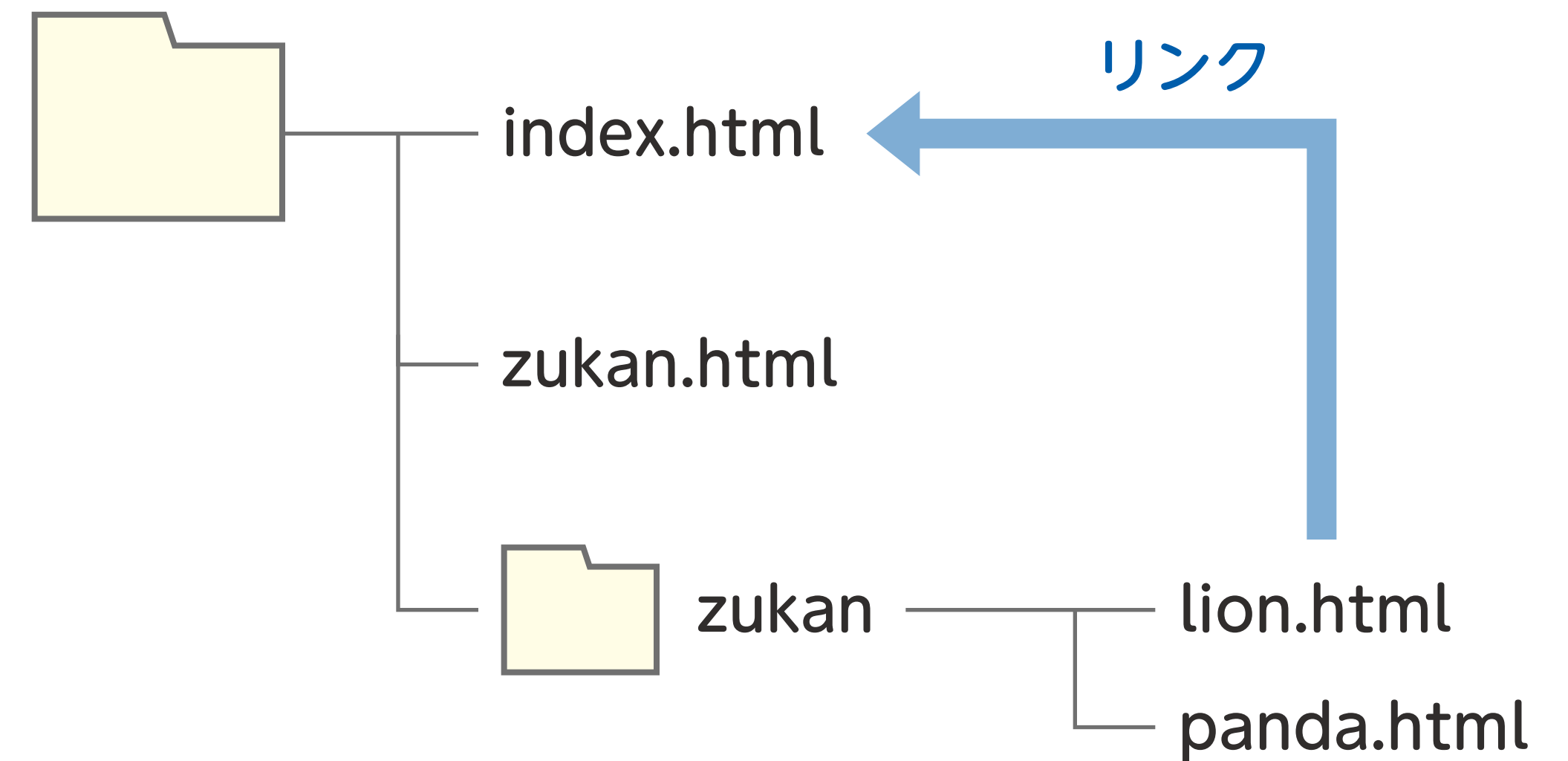
■ フォルダ内にあるファイルへリンク



``

フォルダ名とスラッシュの後にファイル名を記述

■ 上の階層にあるファイルへリンク



``

../の後にファイル名を記述

CSSのリセット

cssを使わずhtmlだけで入力したページでも、文字の大きさや余白などがあらかじめ設定されています。これはブラウザ（ChromeやFirefox,Safariなど）が持っている独自のcssの設定が存在するためです。この設定は**ブラウザによって見え方が違ってしまうことがある**ため、一度全てのcssをリセットしてまっさらな状態にすることで見え方の違いを無くしcssを設定しやすくします。そのためのcssが**リセットcss**です。

■ htmlだけで入力した状態

文字が太くて大きい
間があいている

NEWS

- 2021.05.03 豆知識を更新しました。
- 2021.04.01 動物園紹介を更新しました。
- 2021.03.05 動物図鑑を更新しました。

間があいている

© 2021 動物図鑑

リセットcssは自分で記述することもできますが、全ての設定をリセットするのはとても大変です。
なのでWeb上に公開されているリセットcssを利用する方法が便利です。

htmlの<head>内に以下の記述を追加してみましょう。

```
<link rel="stylesheet" href="https://unpkg.com/ress/dist/ress.min.css">
```

Web上に公開されているリセットcssのファイル

注意点

これとは別に自分で作成したcssを読み込む場合は、リセットcssの後ろで読み込んでください。
先に読み込んでしまうと、自分で作成したcssがリセットされてしまいます。

リセットCSSが先→

```
<link rel="stylesheet" href="https://unpkg.com/ress/dist/ress.min.css">
```

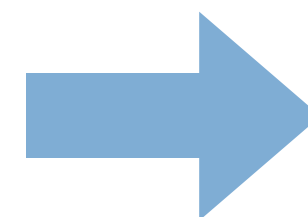
自分で作ったCSSが後ろ→

```
<link rel="stylesheet" href="style.css">
```


横並びのレイアウト

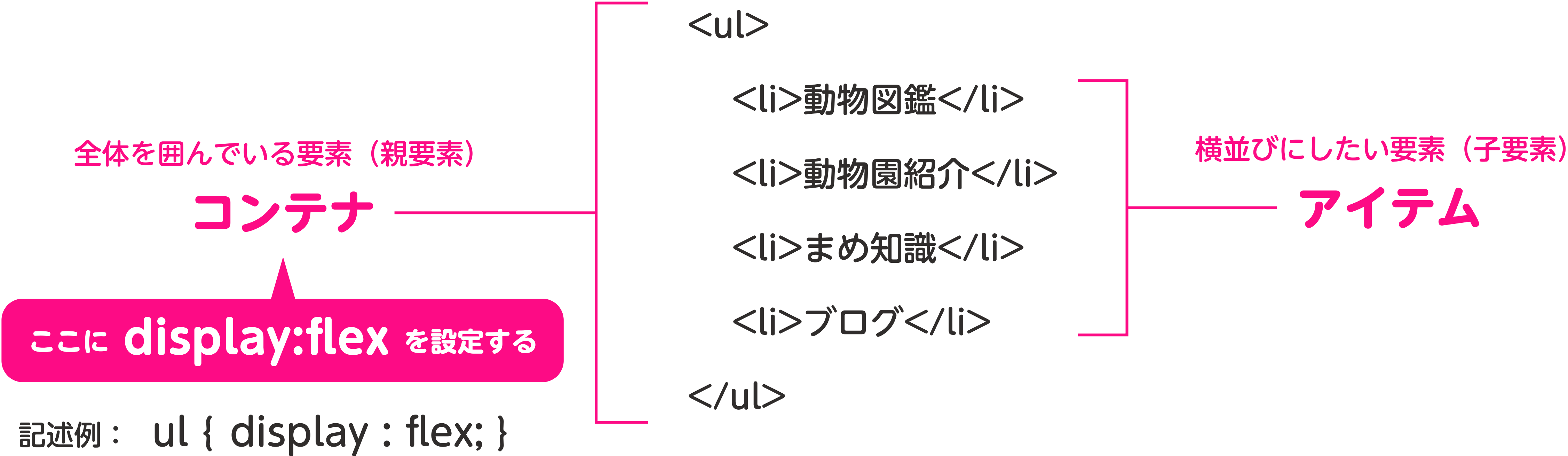
htmlで並べた文字や画像は、一部を除き基本的に上から下へ配置されていきますが、cssの`display:flex`を使用することで横に並べることができます。
このプロパティを使うと、よくあるタイプの横並びのナビゲーションバーを作ることができます。

- [動物図鑑](#)
- [動物園紹介](#)
- [まめ知識](#)
- [ブログ](#)



横並びにするには、横並びにしたい要素（アイテム）を囲んでいる要素（コンテナ）に対して `display:flex` を設定します。

コンテナにあたる要素が無い場合は、`<div>`などでコンテナに変わる要素を作っても大丈夫です。



コンテナ（親要素）には、display:flex の他に様々なプロパティを追加することで並び方を変えることができます。

flex-direction

アイテムの並び順

row（初期設定）	水平方向に左から右へ配置
row-reverse	水平方向に右から左へ配置
column	垂直方向に上から下へ配置
colmn-reverse	垂直方向に下から上へ配置

flex-wrap

アイテムの折り返し

nowrap（初期設定）	折り返さずに一列に配置
wrap	折り返して上から下へと配置
wrap-reverse	折り返して下から上へと配置

justify-content 水平方向の位置

flex-start (初期設定) 左揃えで配置

flex-end 右揃えで配置

center 左右中央揃えで配置

space-between 両端の余白を空けずに等間隔に配置

space-around 両端の余白も含めて等間隔に配置

align-items 垂直方向の位置

stretch (初期設定) 上下の余白を埋めるように配置

flex-start 上揃えで配置

flex-end 下揃えで配置

center 上下中央揃えで配置

baseline ベースラインに合わせて配置

参考ページ：<https://webdesign-trends.net/entry/8148>